

# 全国中小企業動向調査結果

(2024年10-12月期実績、2025年1-3月期以降見通し)

## 小企業の景況

(原則従業員20人未満)

### 小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる

(前回)持ち直しの動きに足踏みがみられる

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲19.9となった。  
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲6.2となった。  
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲10.8となった。  
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 11ページ

#### ■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

業況判断DI	売上DI	採算DI	資金繰りDI	借入DI
▲19.9 (+3.9)	▲6.2 (+2.9)	▲10.8 (+6.2)	▲21.9 (+1.0)	▲17.6 (-2.3)

## 中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

### 中小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

(前回)持ち直しの動きがみられる

- 業況判断DIは、前期から低下し、3.2となった。  
来期以降は上昇する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、前期からほぼ横ばいの10.9となった。  
来期以降は上昇する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲2.4となった。  
来期以降も上昇する見通し。 ← 21ページ

業況判断DI	売上DI	純益率DI	資金繰りDI	長期借入難易DI
3.2 (-1.8)	10.9 (+0.1)	▲2.4 (+0.6)	1.4 (-1.4)	5.0 (+1.3)

#### <お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:青野、葛貫)  
中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:白石、立澤)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

## 目次

調査結果の概要	1
---------	---

### 【小企業編】

概況	3
調査の実施要領	4
業況判断	5
売上	10
採算	11
資金繰り、借入	12
経営上の問題点	13
設備投資、価格動向	14

### 【中小企業編】

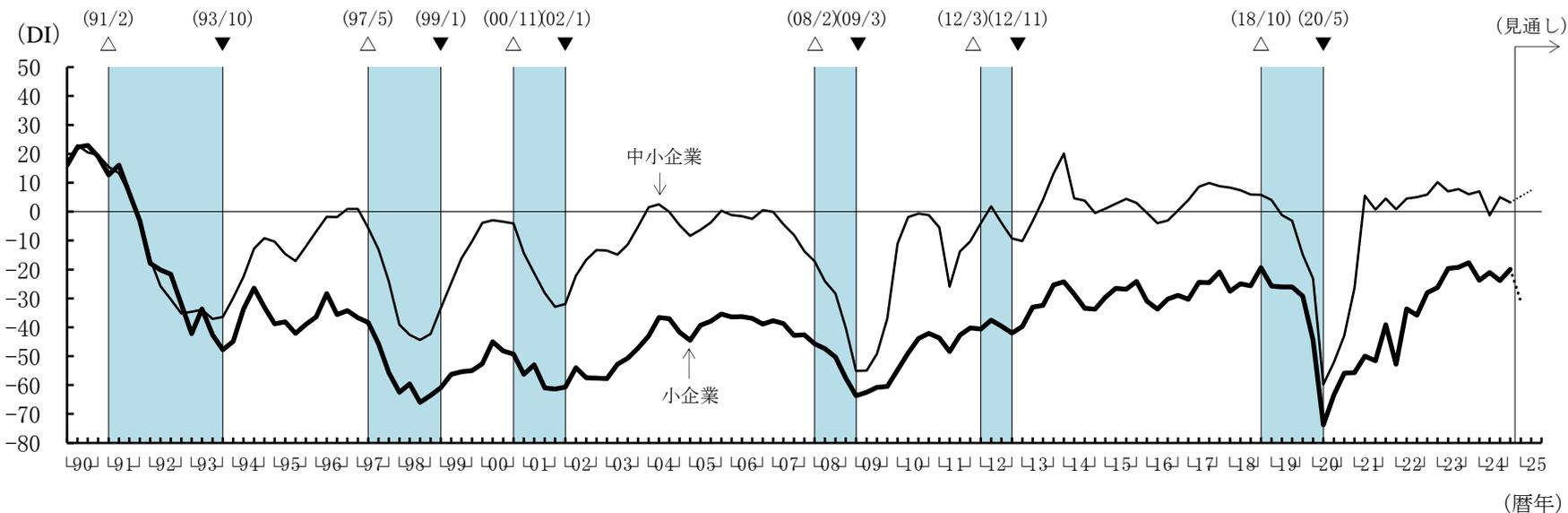
概況	15
調査の実施要領	16
業況判断	17
売上	20
利益	21
価格、金融関連	22
雇用、設備	23
経営上の問題点	24

# 調査結果の概要

## 1 業況判断DIの推移

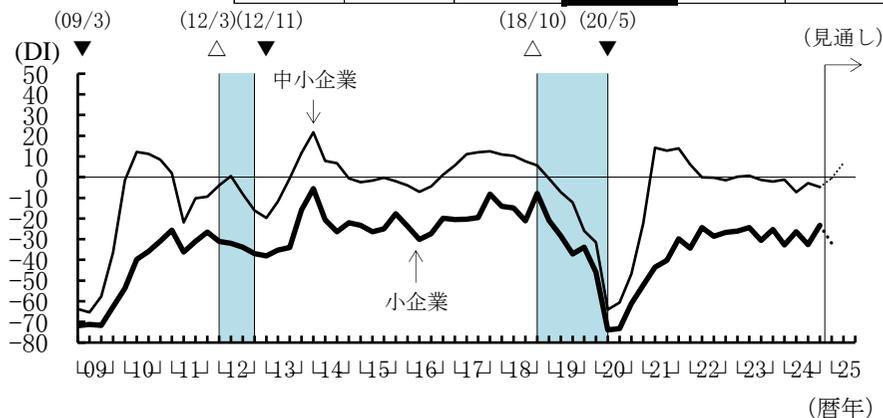
### ①全業種計

	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3 見通し	25.4-6 見通し
中小企業	5.9	10.2	7.0	7.8	6.0	7.0	▲1.3	5.0	3.2	5.3	7.3
小企業	▲28.0	▲26.3	▲19.7	▲19.2	▲17.6	▲23.8	▲21.0	▲23.8	▲19.9	▲31.0	-



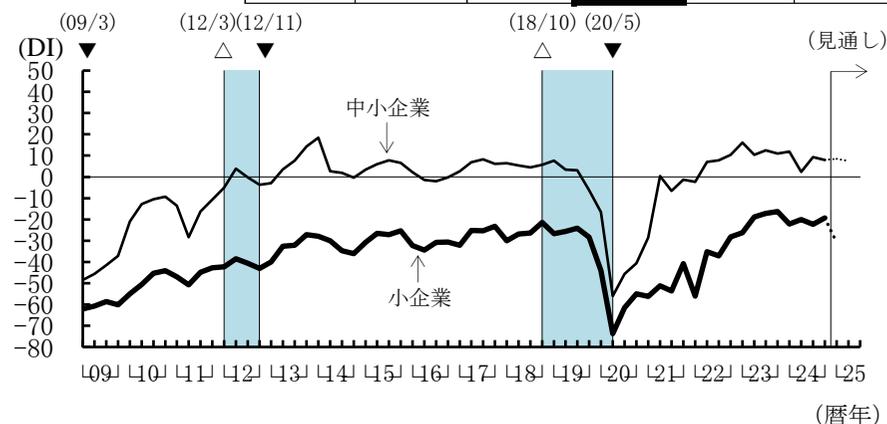
### ②製造業

	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3 見通し	25.4-6 見通し
中小企業	▲7.3	▲2.9	▲4.8	▲0.5	6.8
小企業	▲26.5	▲32.6	▲23.3	▲31.9	-



### ③非製造業

	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3 見通し	25.4-6 見通し
中小企業	2.3	9.3	8.0	8.5	7.5
小企業	▲20.0	▲22.2	▲19.3	▲30.8	-

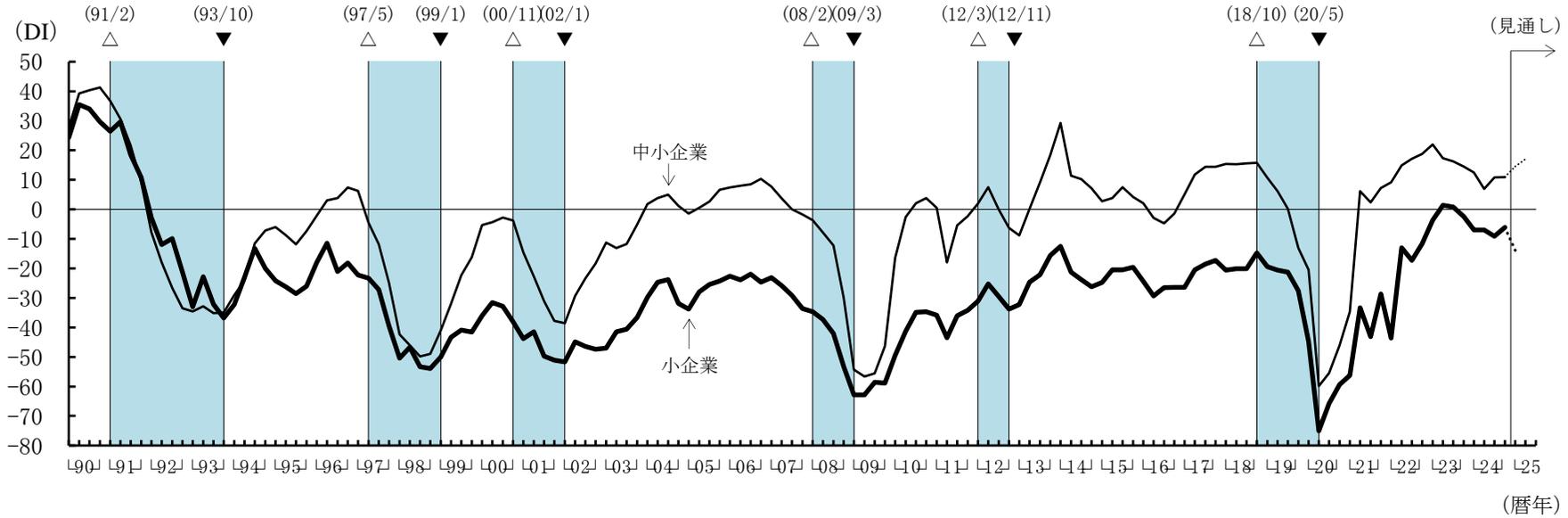


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。  
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

## 2 売上DIの推移

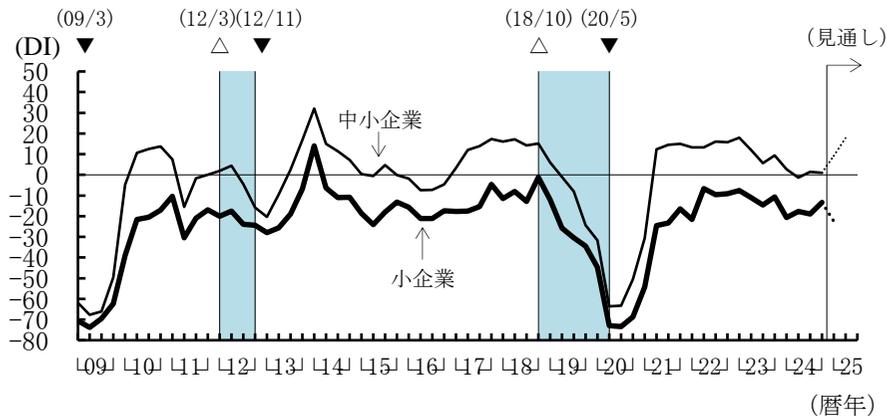
### ①全業種計

	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3 見通し	25.4-6 見通し
中小企業	18.8	22.0	17.3	16.3	14.5	12.5	6.9	10.8	10.9	14.5	17.0
小企業	▲11.6	▲3.6	1.4	0.8	▲2.4	▲7.0	▲6.9	▲9.1	▲6.2	▲13.9	-



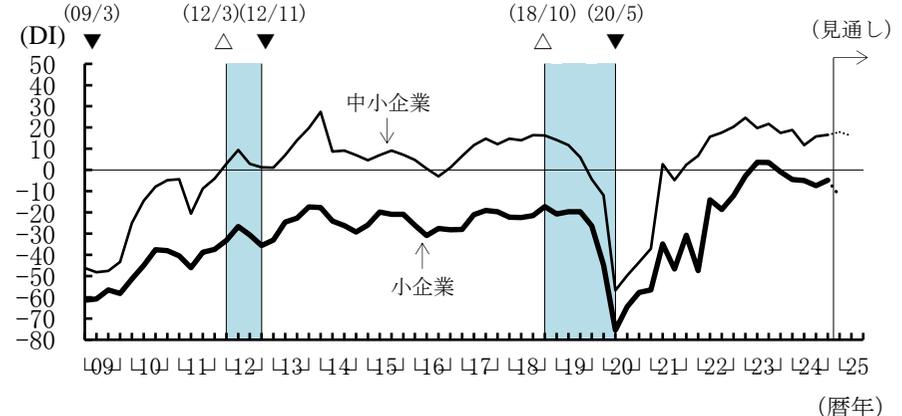
### ②製造業

	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3 見通し	25.4-6 見通し
中小企業	▲1.3	1.4	1.0	9.2	17.8
小企業	▲17.7	▲18.9	▲13.3	▲22.4	-



### ③非製造業

	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3 見通し	25.4-6 見通し
中小企業	11.7	15.7	16.5	17.9	16.1
小企業	▲4.9	▲7.3	▲4.9	▲12.3	-



- (注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値 (季節調整済)。

## 小企業編

(2024年10－12月期実績、2025年1－3月期見通し)

小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる

## [調査の実施要領]

調 査 時 点	2024年12月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先 10,000 企業
有 効 回 答 数	5,819 企業 [回答率 58.2 %]

### < 業 種 構 成 >

		調 査 対 象	有 効 回 答 数	
製 造 業	(従業員20人未満)	1,500 企業	879 企業	( 構 成 比 15.1 %)
卸 売 業	( 同 10人未満)	800 企業	570 企業	( 同 9.8 %)
小 売 業	( 同 10人未満)	2,450 企業	1,350 企業	( 同 23.2 %)
飲食店・宿泊業	( 同 10人未満)	1,800 企業	879 企業	( 同 15.1 %)
サ ー ビ ス 業	( 同 20人未満)	2,000 企業	1,239 企業	( 同 21.3 %)
情 報 通 信 業	( 同 20人未満)	160 企業	70 企業	( 同 1.2 %)
建 設 業	( 同 20人未満)	1,100 企業	703 企業	( 同 12.1 %)
運 輸 業	( 同 20人未満)	190 企業	129 企業	( 同 2.2 %)

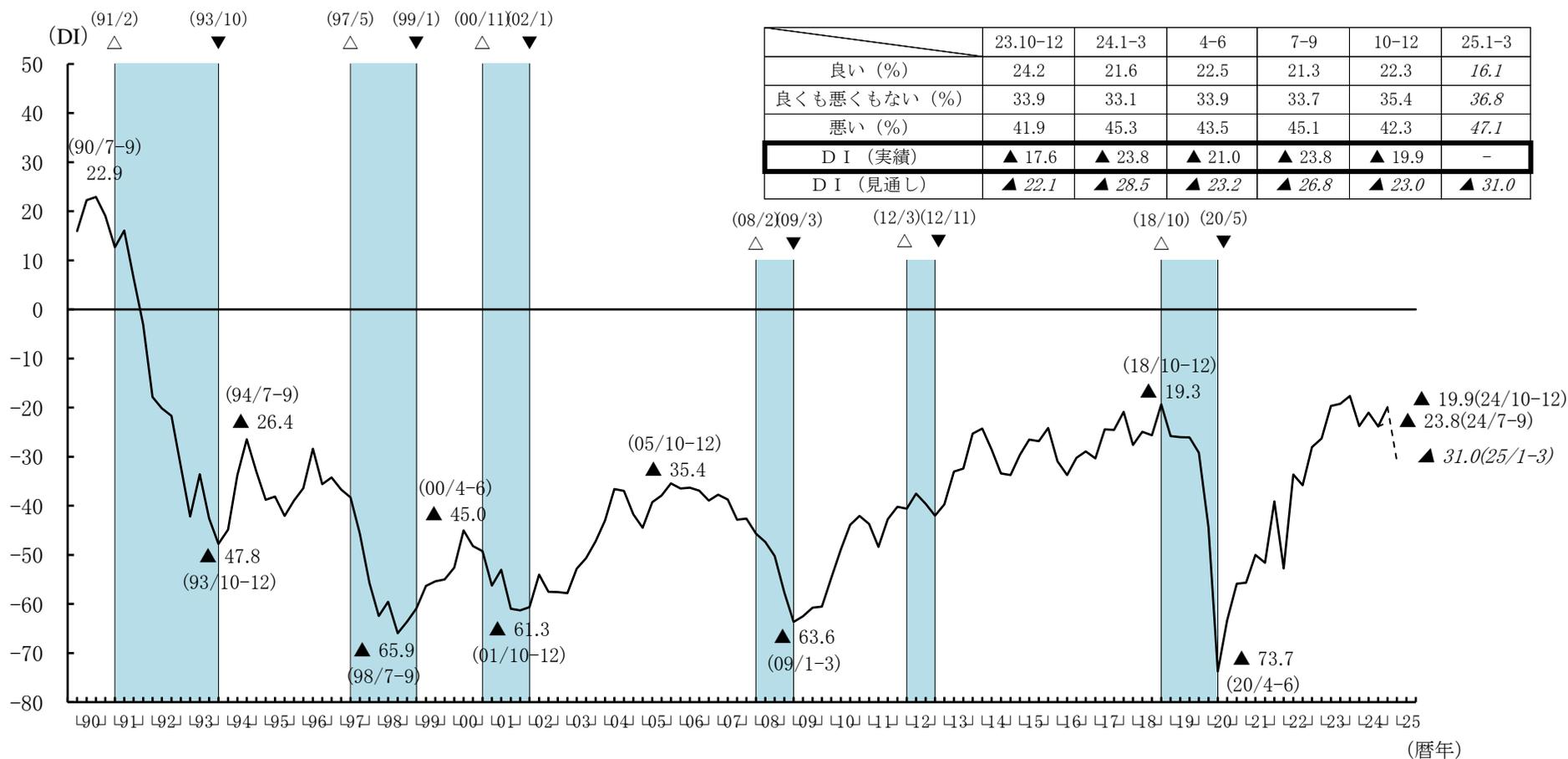
(参考)

法人	3,893 企業	( 構 成 比 66.9 %)
個人	1,926 企業	( 同 33.1 %)

# 1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2024年7-9月期）からマイナス幅が3.9ポイント縮小し、▲19.9となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大し、▲31.0となる見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（全業種計）

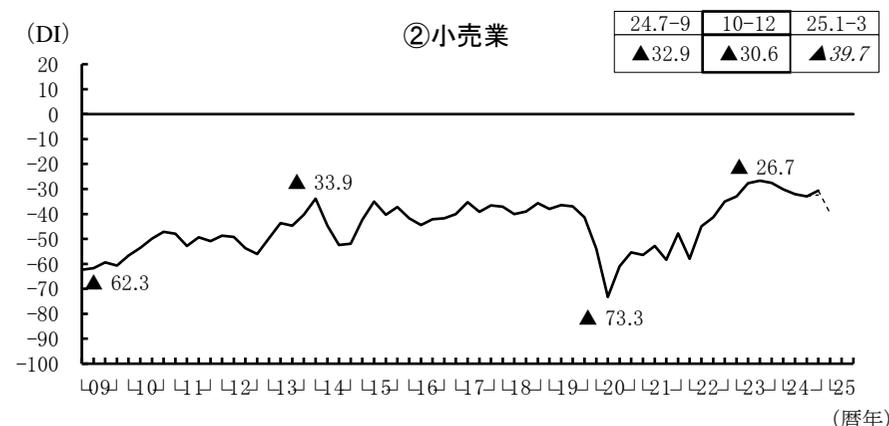
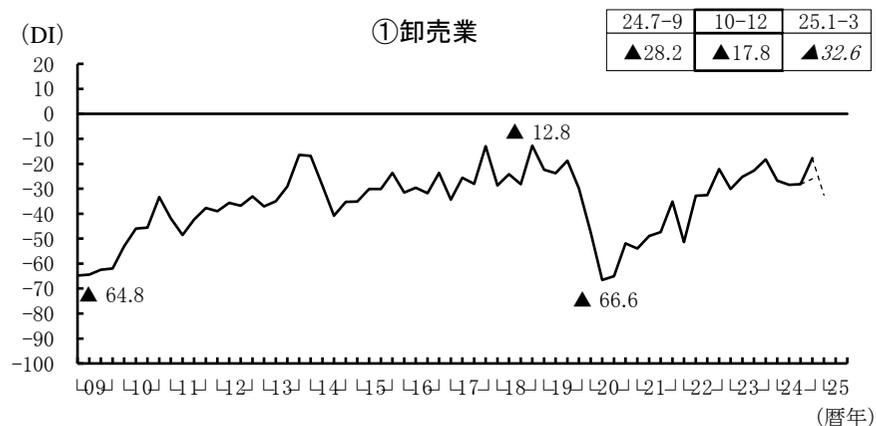
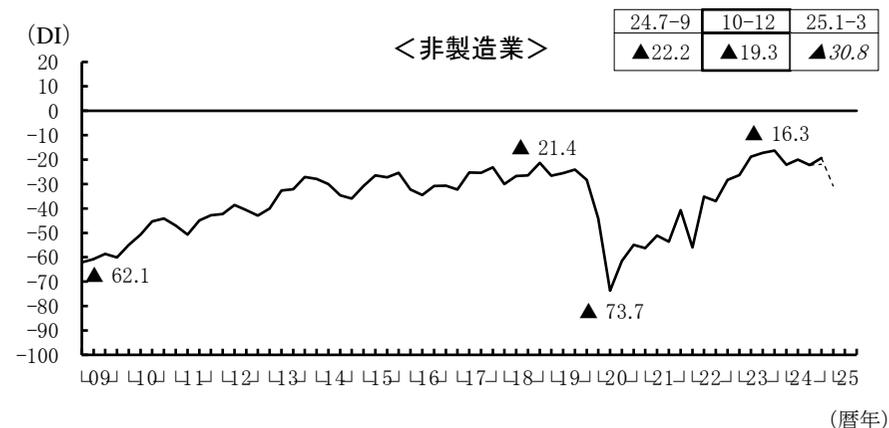
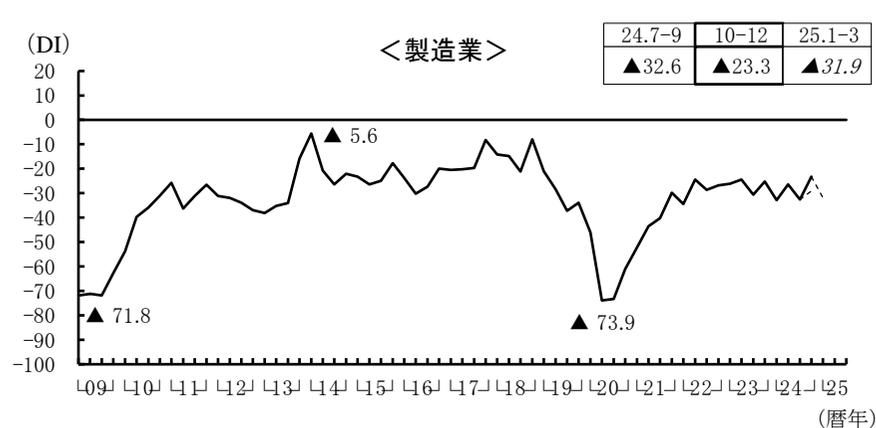


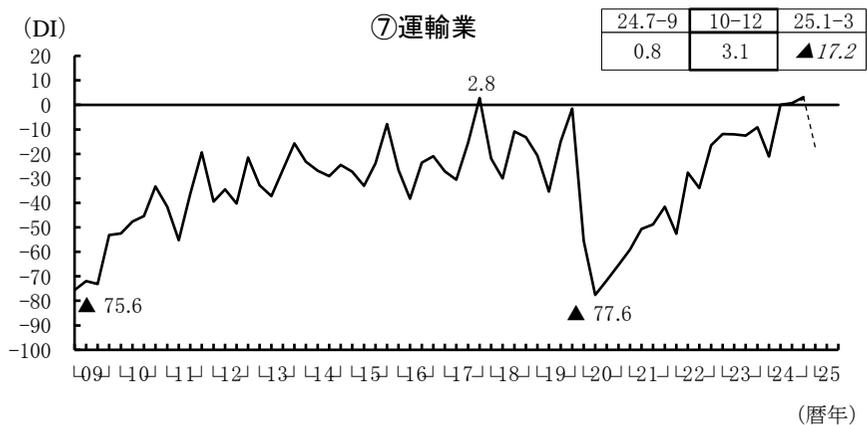
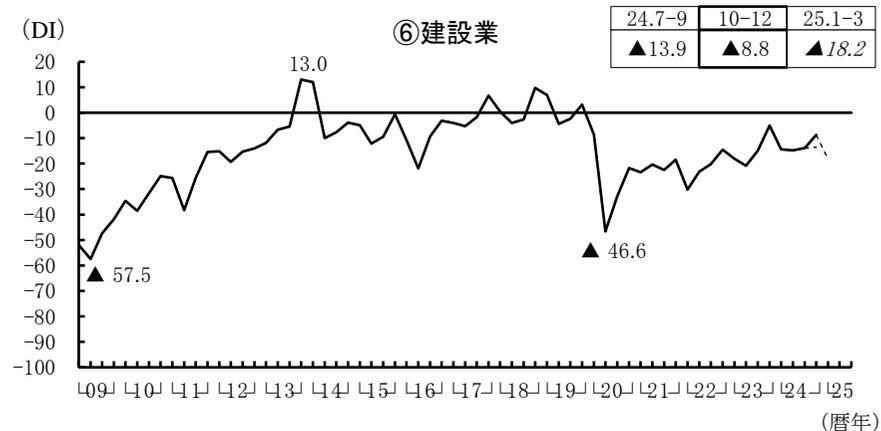
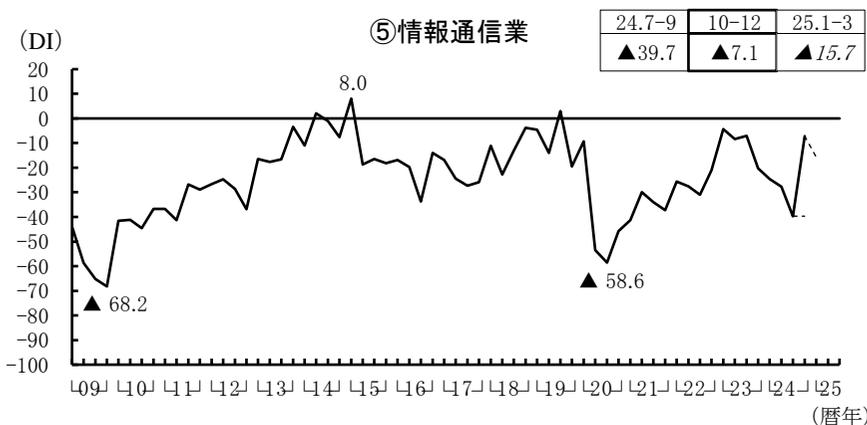
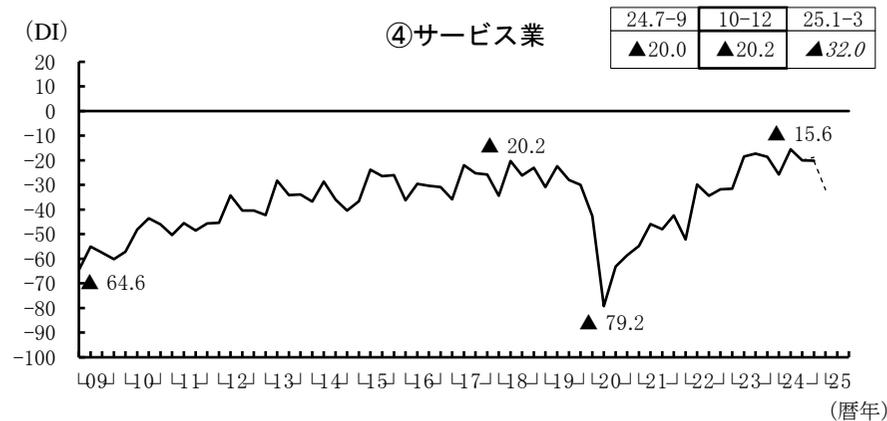
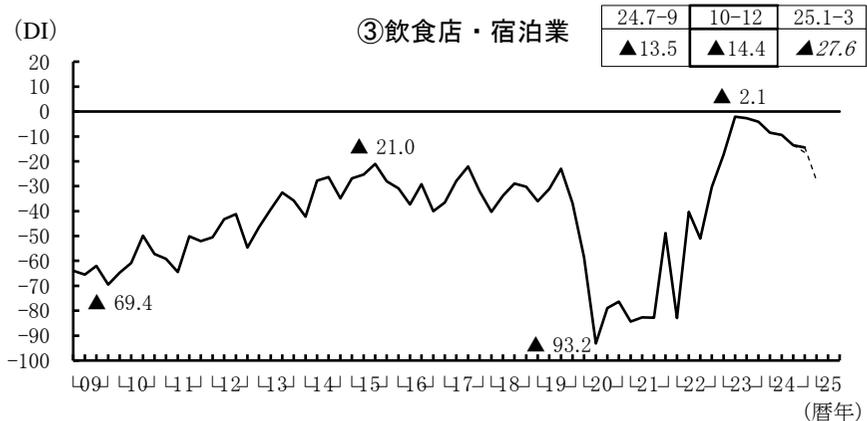
(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

○ 業況判断DIを業種別にみると、製造業（▲23.3）、非製造業（▲19.3）ともにマイナス幅が縮小した。非製造業を構成する大分類業種のうち、飲食店・宿泊業とサービス業を除くすべての業種で上昇した。

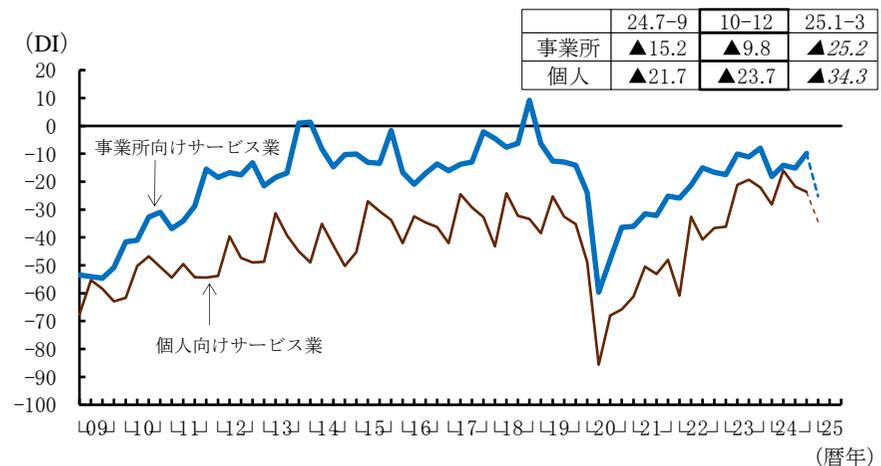
○ 来期は、製造業、非製造業ともにマイナス幅が拡大する見通しである。

図－２ 業種別業況判断DIの推移



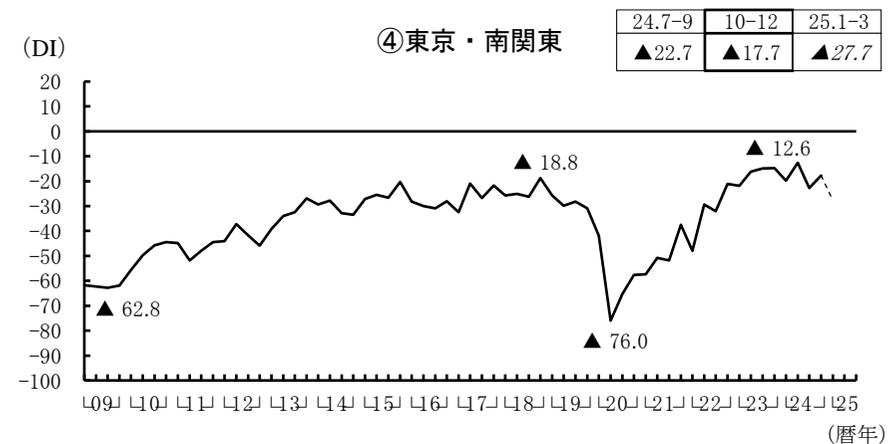
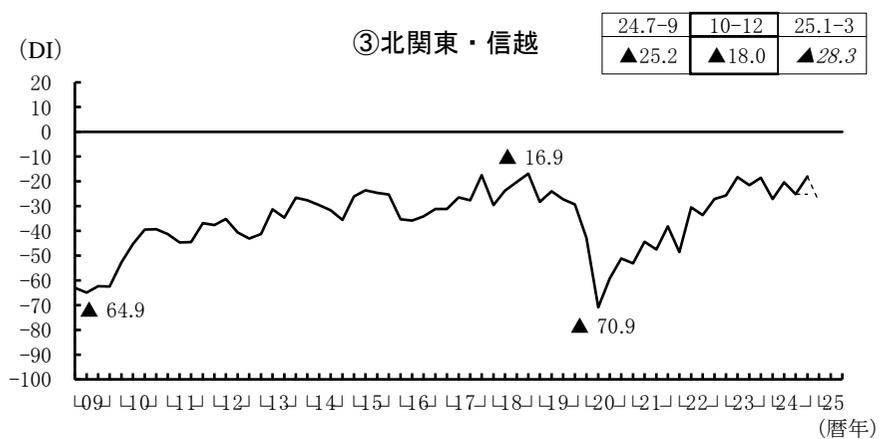
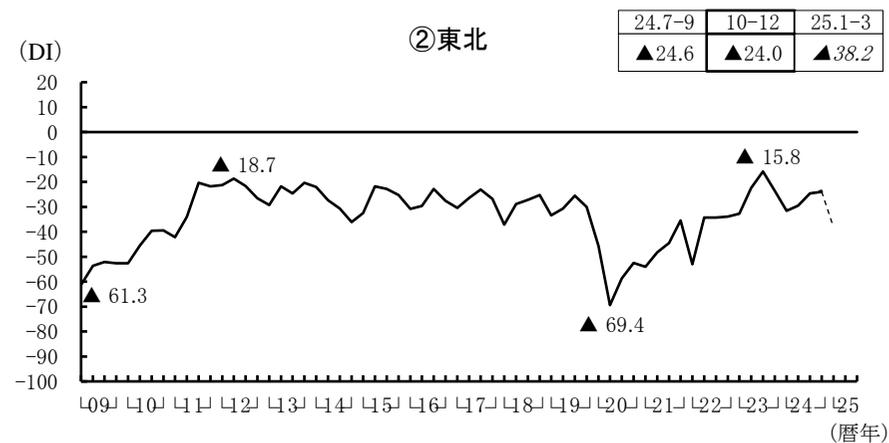
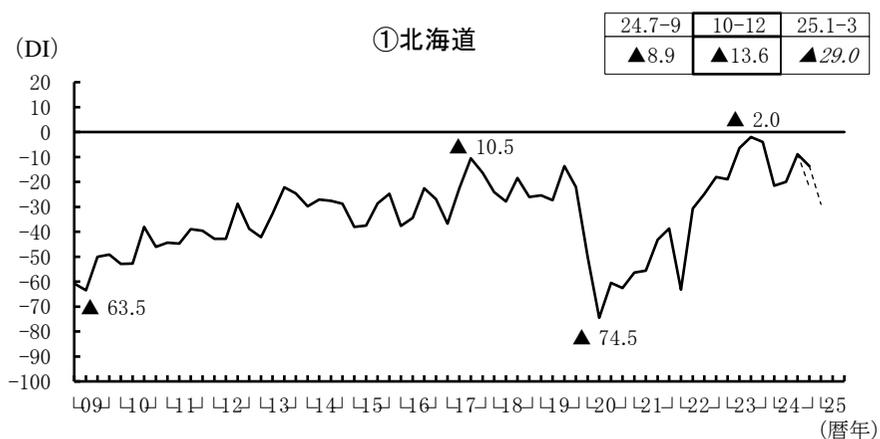


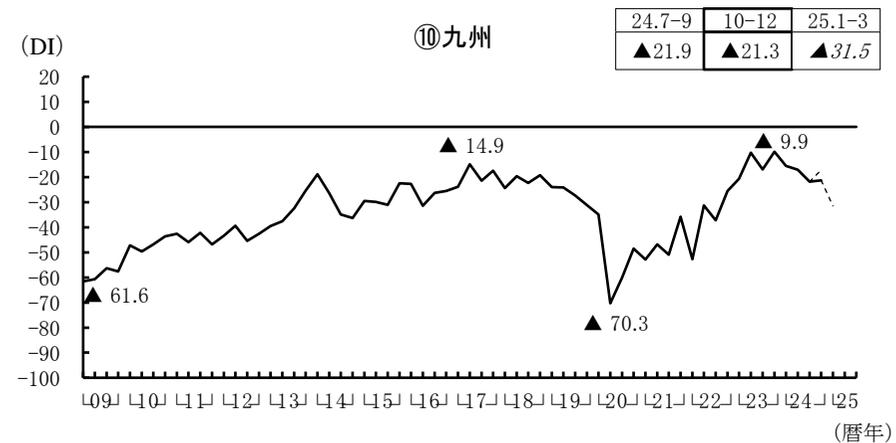
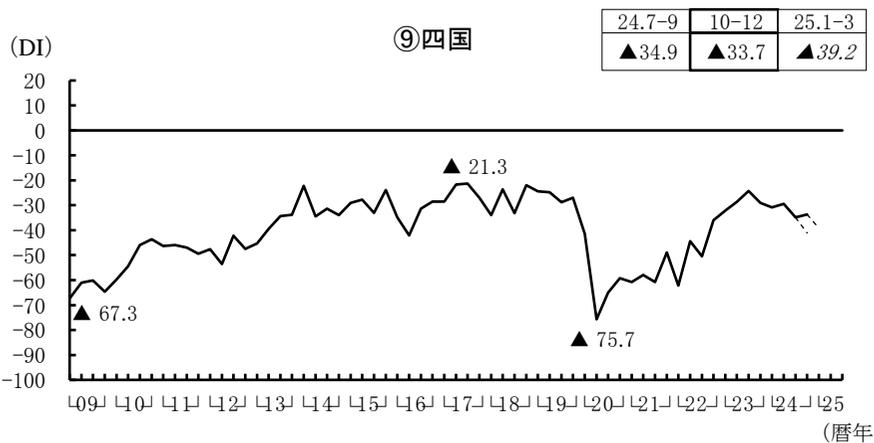
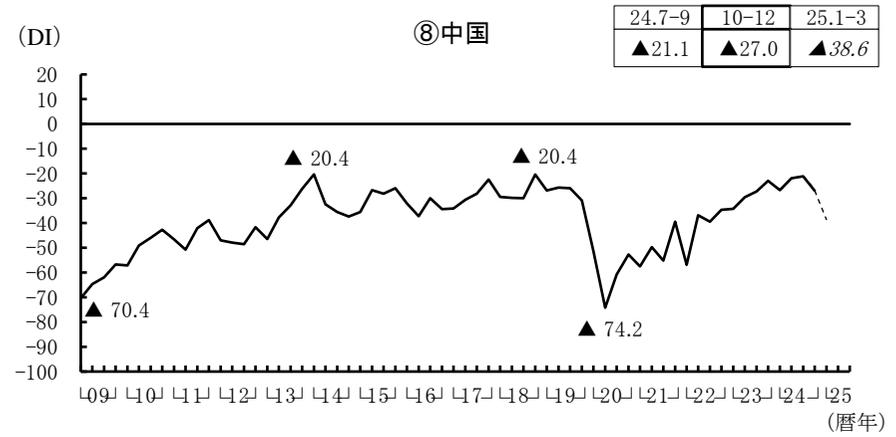
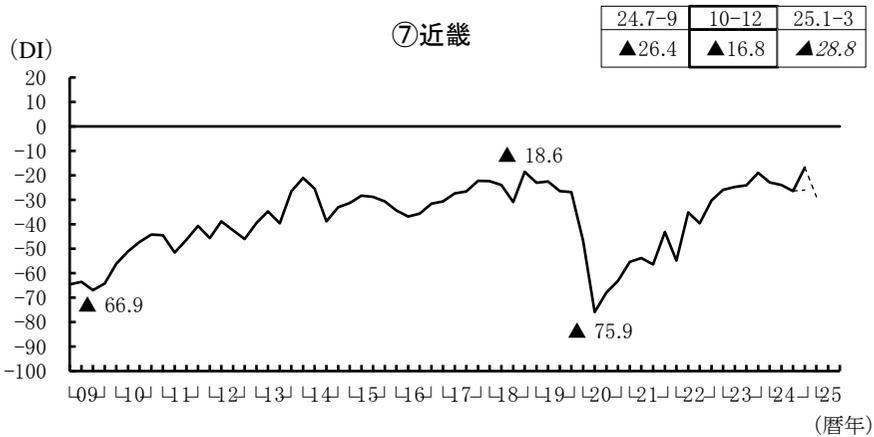
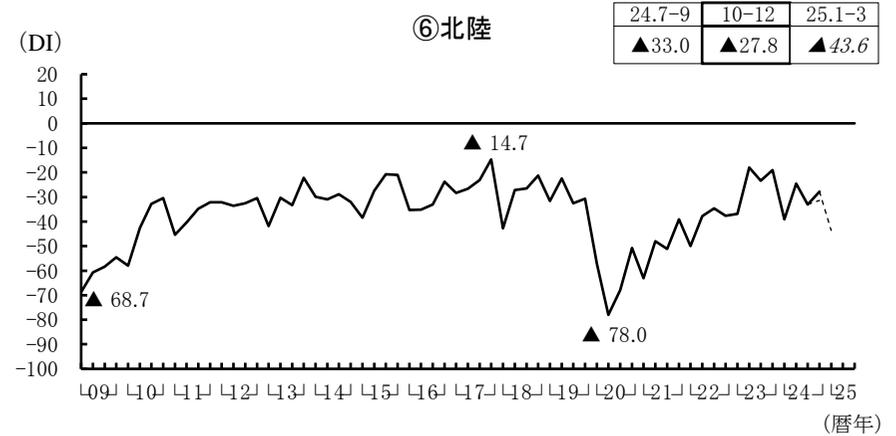
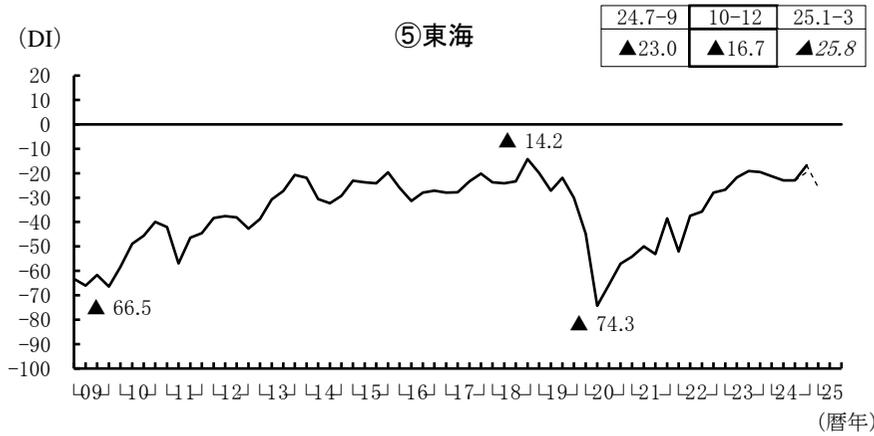
(参考) 個人向けサービス業と事業所向けサービス業の業況判断DIの推移



- 業況判断DIを地域別にみると、北海道と中国を除くすべての地域でマイナス幅が縮小した。
- 来期は、すべての地域でマイナス幅が拡大する見通しである。

図－3 地域別業況判断DIの推移

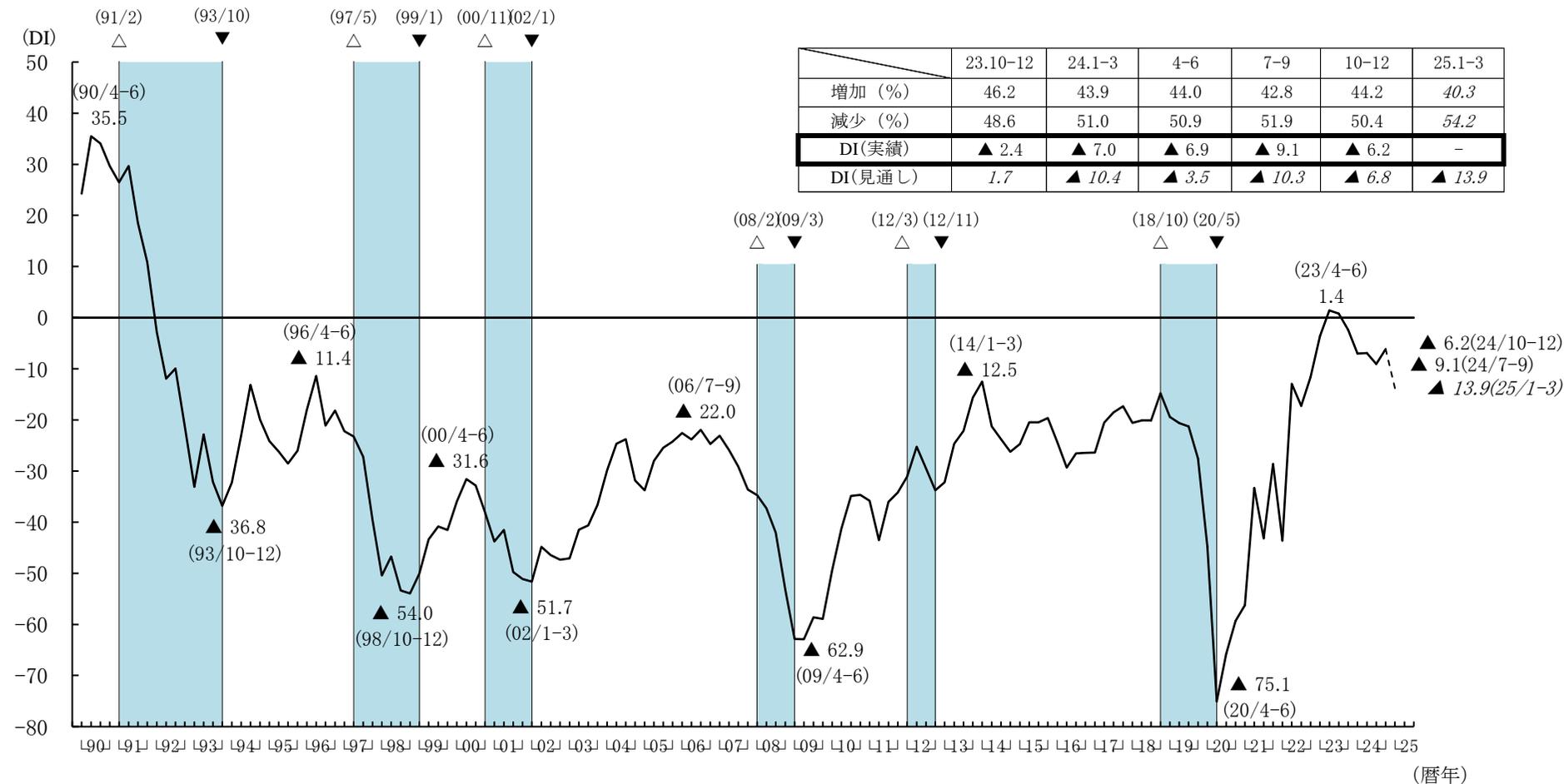




## 2 売上

- 今期の売上DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が2.9ポイント縮小し、▲6.2となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

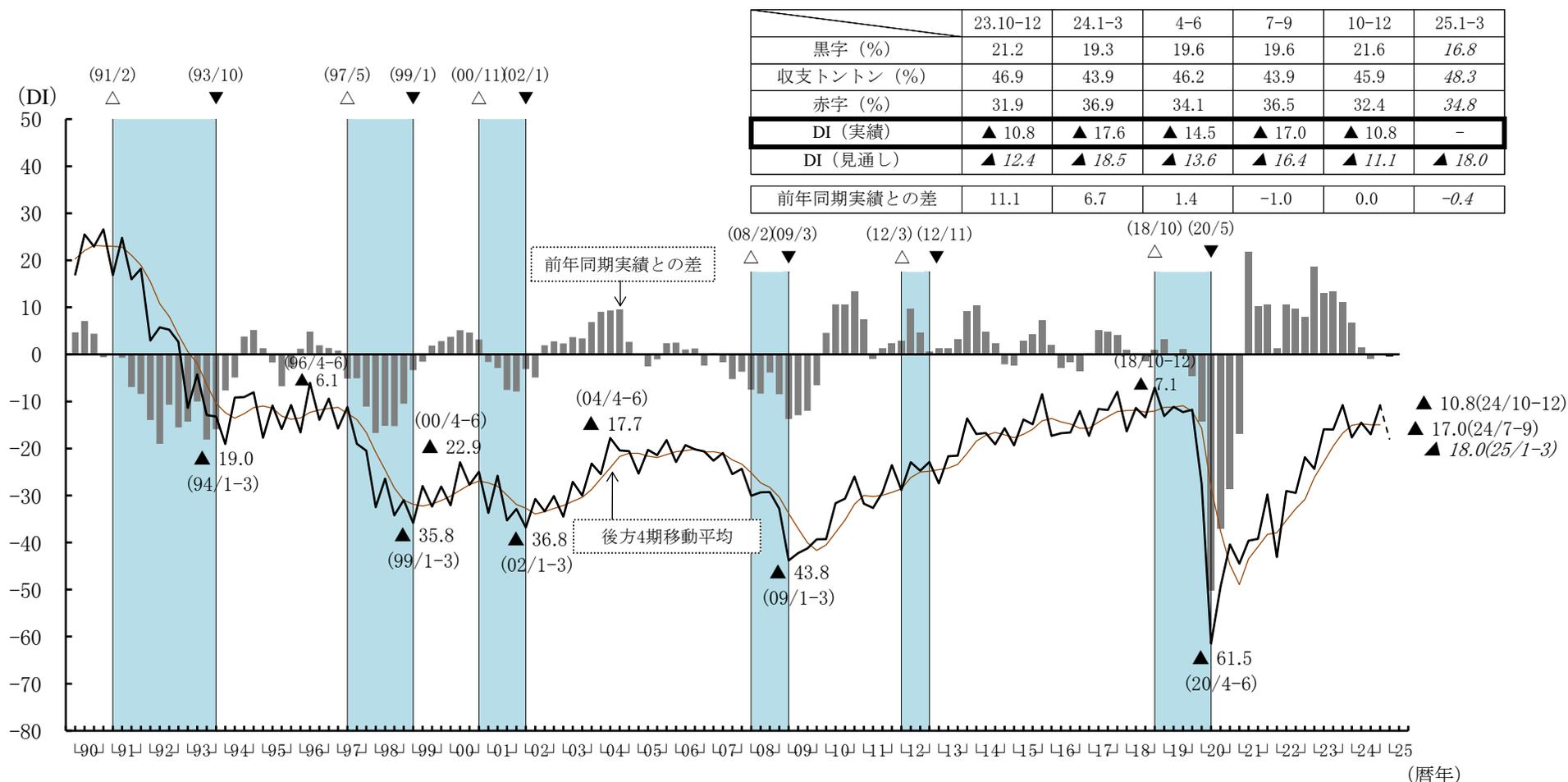
図－4 売上DIの推移（全業種計）



### 3 採算

- 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が6.2ポイント縮小し、▲10.8となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

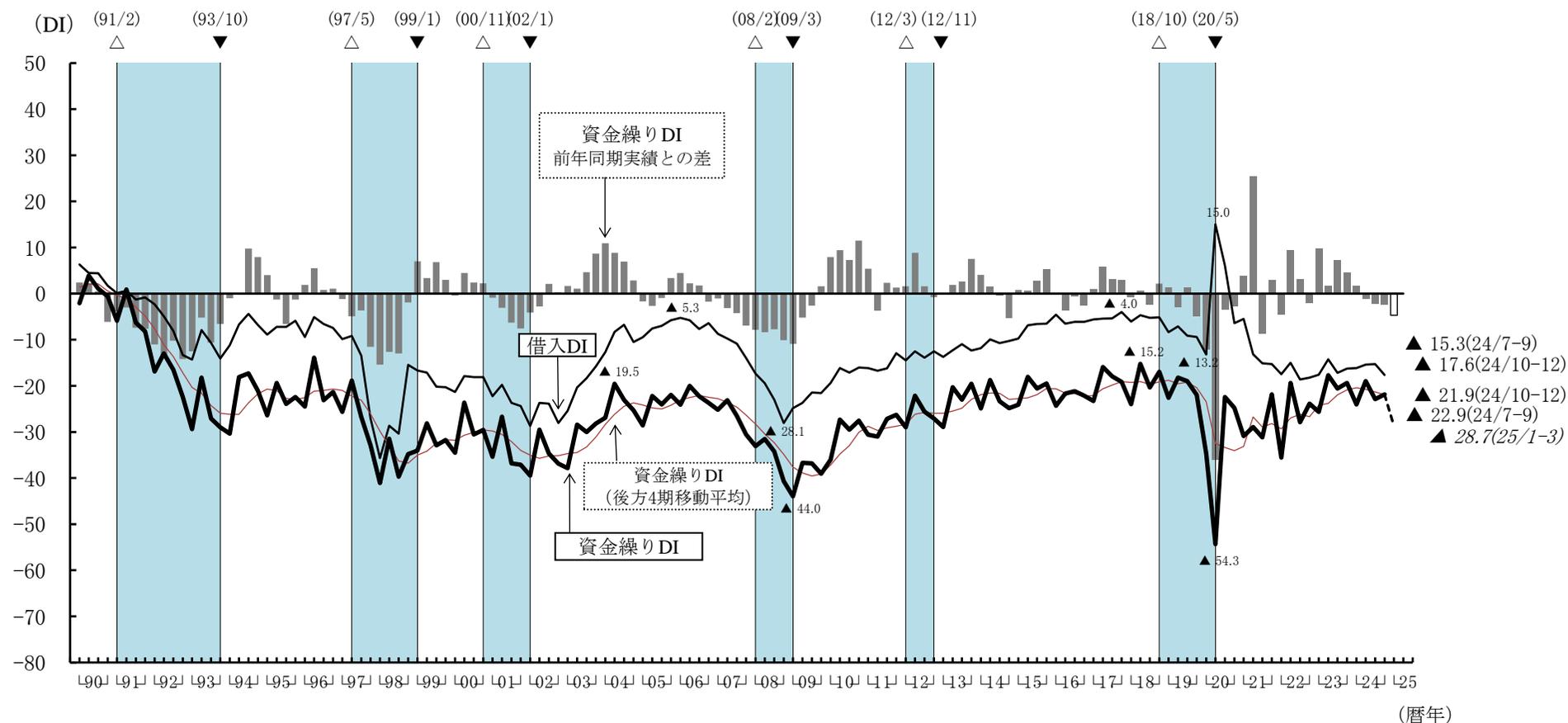
図－5 採算DIの推移（全業種計）



## 4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が1.0ポイント縮小し、▲21.9となった。来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期からマイナス幅が2.3ポイント拡大し、▲17.6となった。

図－6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）



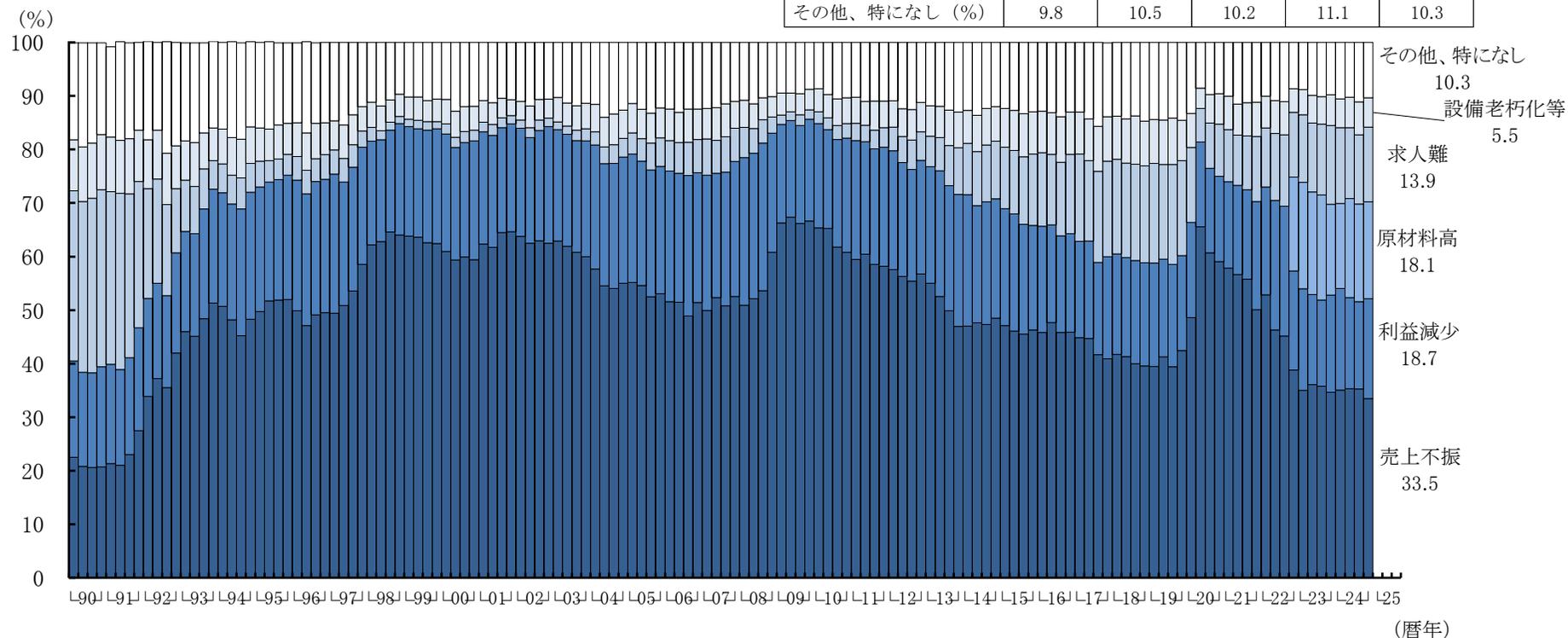
- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 3 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

## 5 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が33.5%と最も多く、次いで、「利益減少」（18.7%）、「原材料高」（18.1%）の順となっている。

図－7 経営上の問題点の推移（全業種計）

	23.10-12	24.1-3	4-6	7-9	10-12
売上不振 (%)	34.7	35.1	35.3	35.2	33.5
利益減少 (%)	18.1	19.0	17.0	16.3	18.7
原材料高 (%)	17.0	15.9	18.5	18.3	18.1
求人難 (%)	14.7	14.2	13.2	12.9	13.9
設備老朽化等 (%)	5.8	5.4	5.7	6.2	5.5
その他、特になし (%)	9.8	10.5	10.2	11.1	10.3

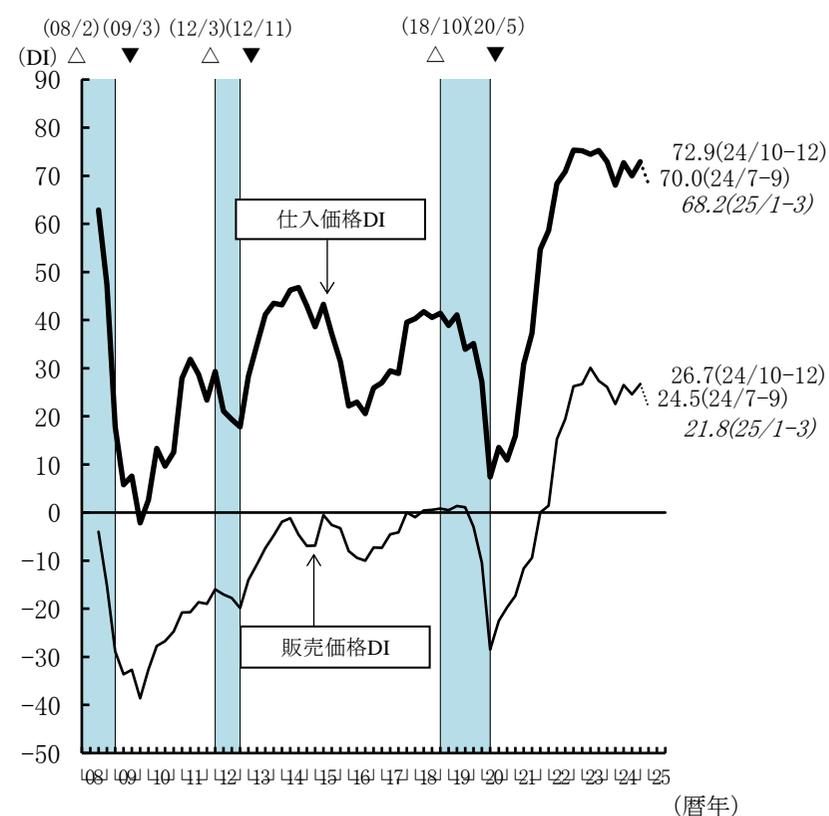
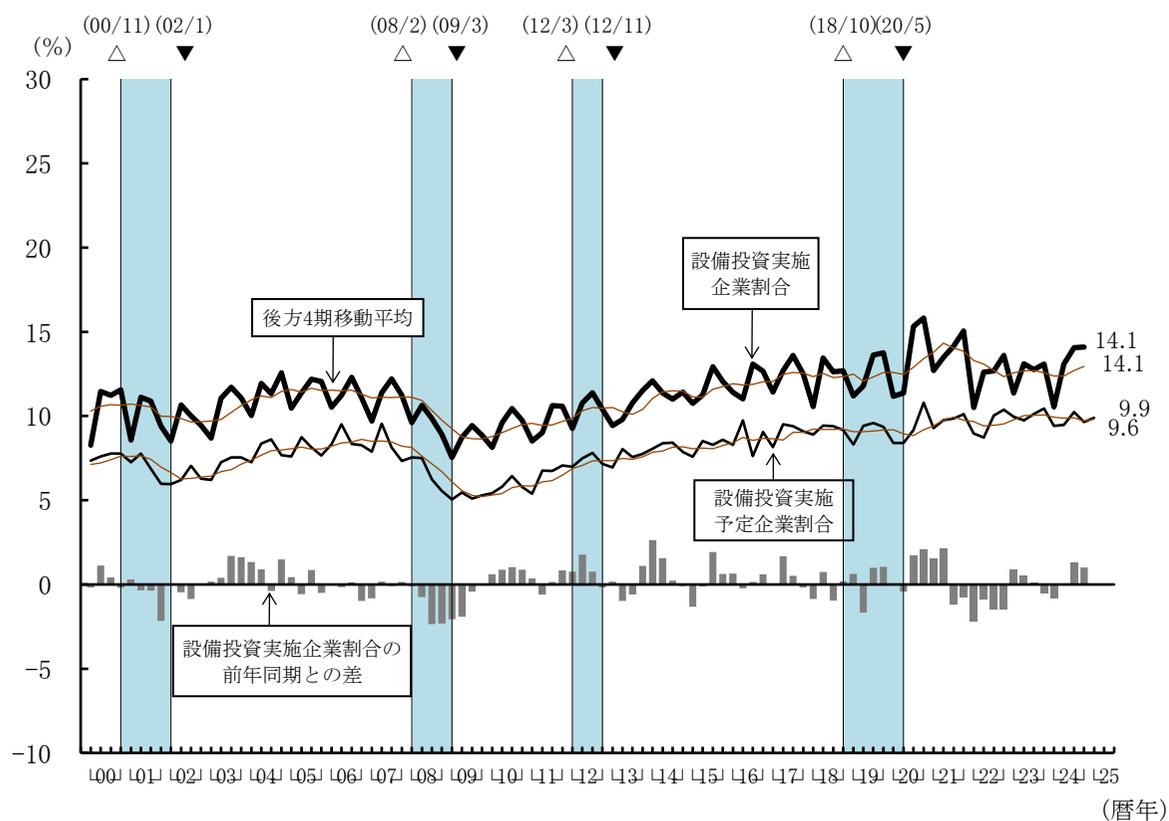


- (注) 1 2022年10-12月期に「原材料高」を追加した。  
2 「その他、特になし」は、「代金回収条件の悪化」「代金支払条件の悪化」「借入難」「その他」「特に問題なし」を合計したものの。  
3 小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

## 6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、前期から横ばいの14.1%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、2.2ポイント上昇し、26.7となった。来期は低下する見通しである。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、2.9ポイント上昇し、72.9となった。来期は低下する見通しである。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計） 図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 3 2008年7-9月期から調査を実施。

## 中小企業編

(2024年10－12月期実績、2025年1－3月期および2025年4－6月期見通し)

中小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

## [調査の実施要領]

調査時点	2024年12月中旬
調査対象	当公庫取引先（原則従業員20人以上）13,823社
有効回答数	5,099社 [回答率 36.9 %]

### <業種構成>

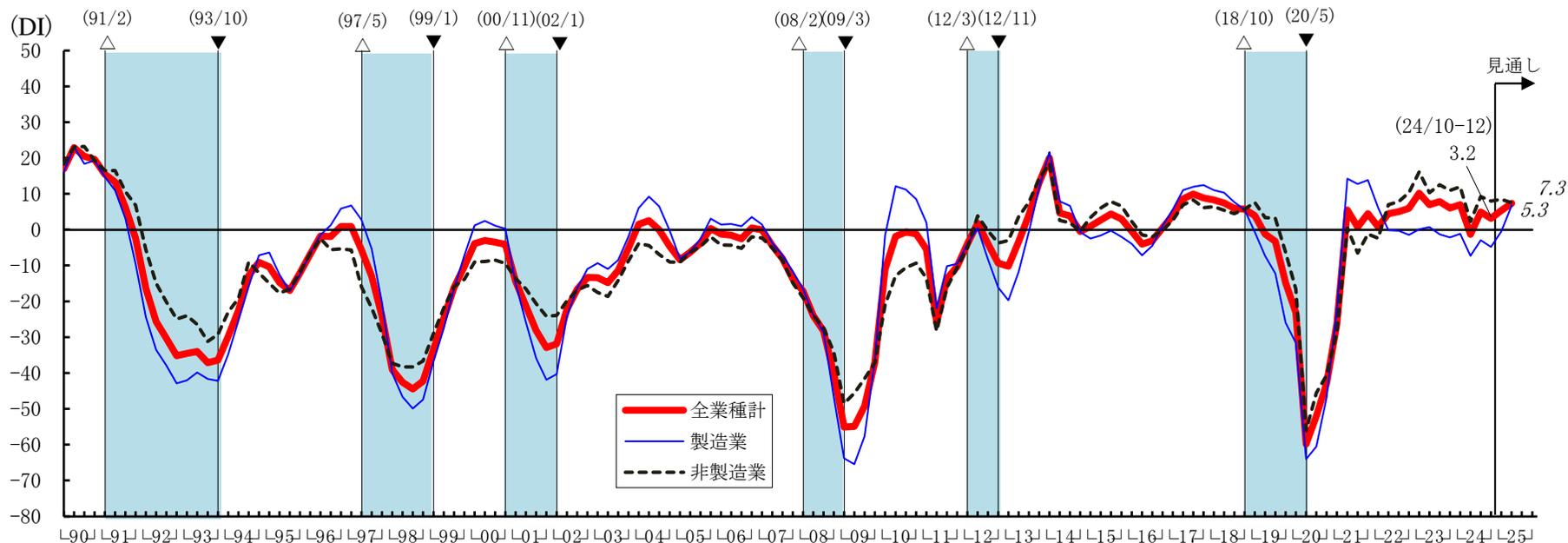
	調査対象	有効回答数		
製造業	4,641社	1,865社	(構成比	36.6%)
鉱業	12社	5社	(同	0.1%)
建設業	1,333社	516社	(同	10.1%)
運送業(除水運)	854社	328社	(同	6.4%)
水運業	158社	57社	(同	1.1%)
倉庫業	65社	37社	(同	0.7%)
情報通信業	416社	115社	(同	2.3%)
ガス供給業	7社	7社	(同	0.1%)
不動産業	769社	273社	(同	5.4%)
宿泊・飲食サービス業	841社	239社	(同	4.7%)
卸売業	1,888社	696社	(同	13.6%)
小売業	1,030社	343社	(同	6.7%)
サービス業	1,809社	618社	(同	12.1%)

# 1 業況判断

- 今期（2024年10－12月期）の業況判断DIは、前期（2024年7－9月期）から1.8ポイント低下し、3.2となった。
- 来期（2025年1－3月期）は5.3と上昇し、来々期（2025年4－6月期）は7.3となる見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（季節調整値）

	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6	2024/7-9	2024/10-12 (前回見通し)	2025/1-3 (前回見通し)	2025/4-6
業況判断DI (季節調整値)	6.0	7.0	▲ 1.3	5.0	3.2 ( 10.9)	5.3 ( 14.0)	7.3
製 造 業	▲ 2.1	▲ 1.2	▲ 7.3	▲ 2.9	▲ 4.8 ( 4.1)	▲ 0.5 ( 10.9)	6.8
非 製 造 業	10.9	11.9	2.3	9.3	8.0 ( 14.9)	8.5 ( 16.2)	7.5



(暦年・四半期)

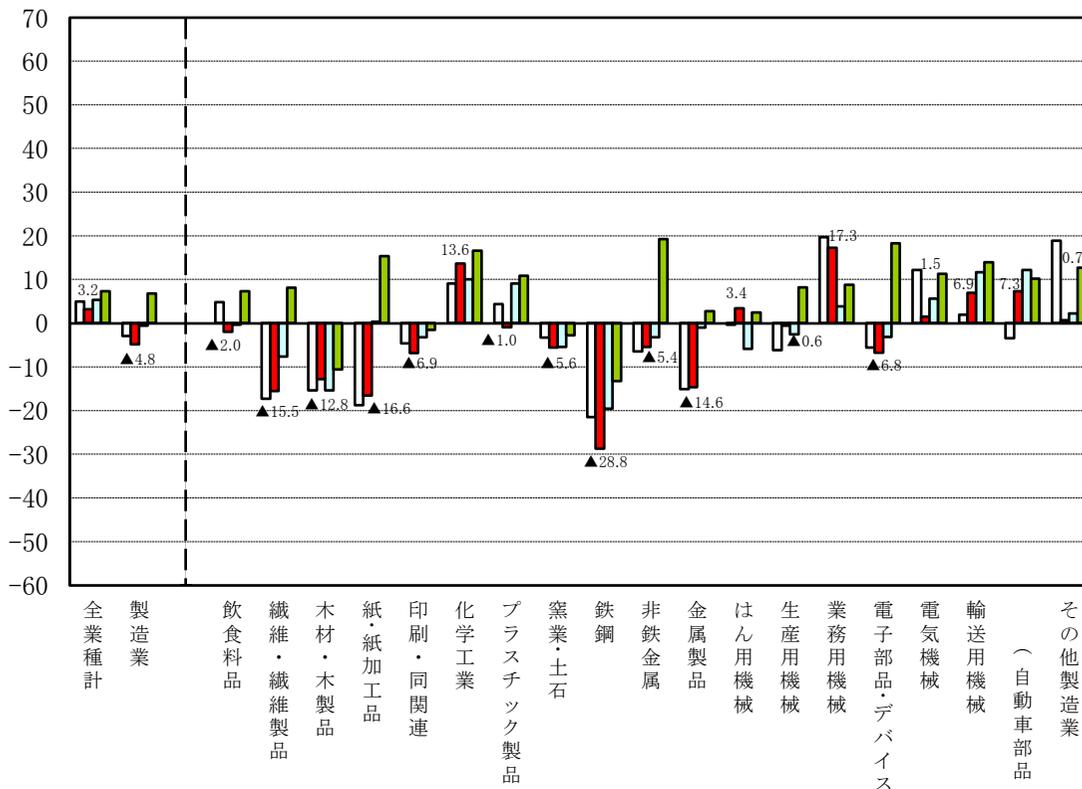
(注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

- 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、生産用機械、輸送用機械、化学工業等が上昇した。一方、電気機械、鉄鋼、飲食料品等は低下した。
- 非製造業は、倉庫業、不動産業、情報通信業等が低下した。

図－2 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）

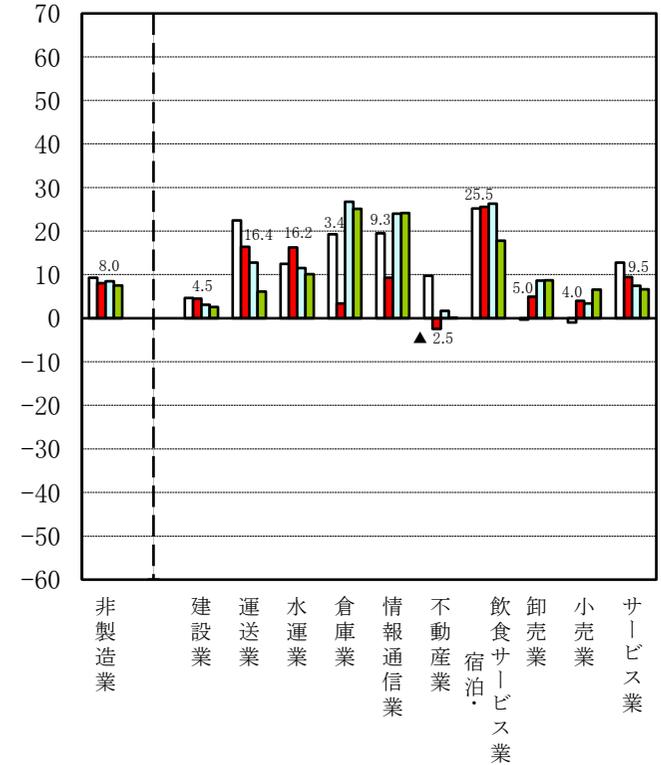


－製造業－  
(DI)



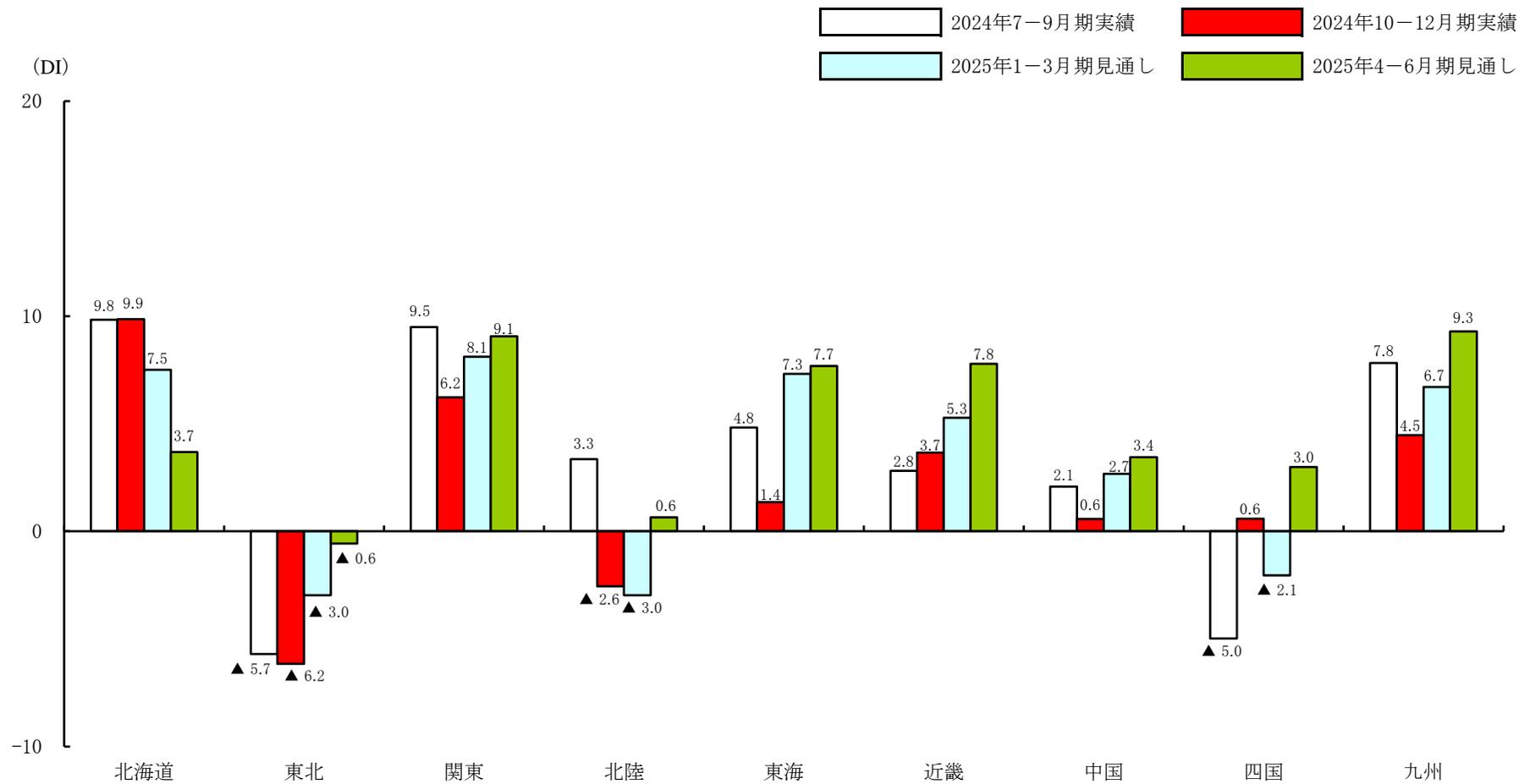
(注) 図中の数字は、今期の実績値を示す。

－非製造業－  
(DI)



- 業況判断DIを地域別にみると、今期は北海道、近畿、四国以外の6地域で低下した。
- 来期は、北海道、北陸、四国以外の6地域で上昇する見通しである。

図－3 地域別業況判断DI（季節調整値）

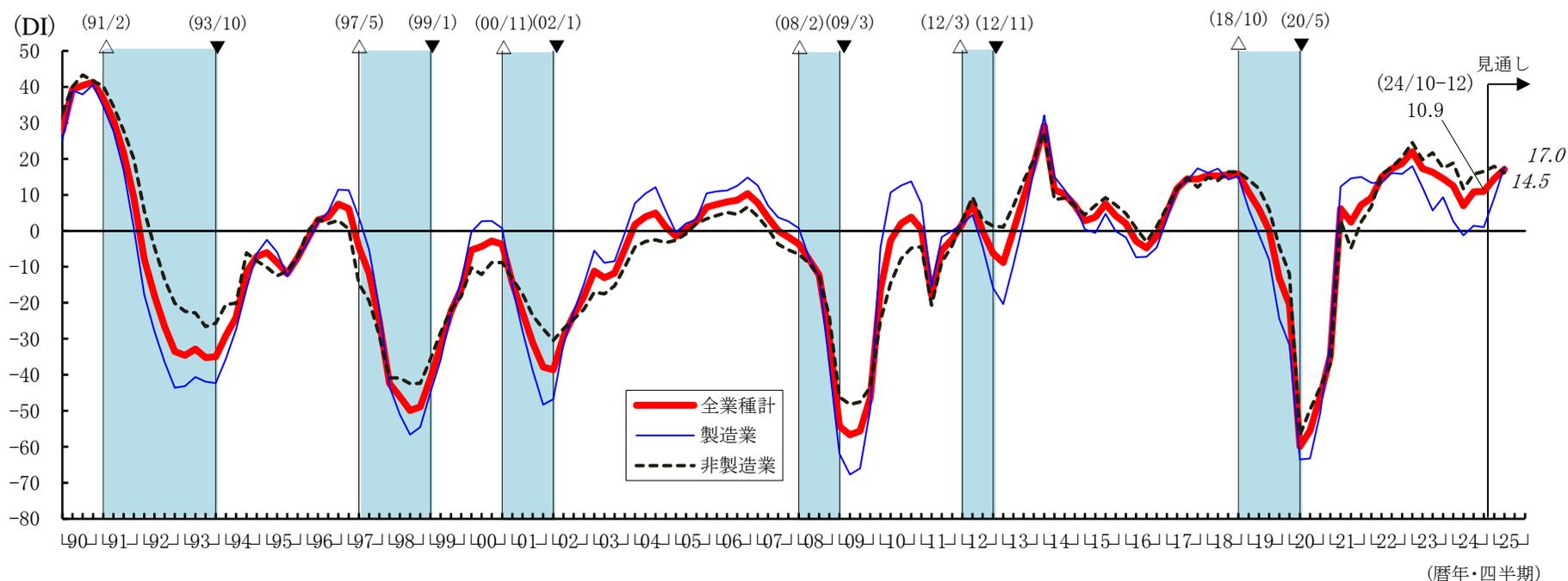


## 2 売上

- 今期の売上DIは、前期からほぼ横ばいで推移し、10.9となった。
- 来期は14.5と上昇し、来々期は17.0となる見通しである。

図－4 売上DIの推移（季節調整値）

	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6	2024/7-9	2024/10-12 (前回見通し)	2025/1-3 (前回見通し)	2025/4-6
売上DI (季節調整値)	14.5	12.5	6.9	10.8	10.9 ( 21.1)	14.5 ( 23.5)	17.0
製 造 業	9.3	2.6	▲ 1.3	1.4	1.0 ( 14.9)	9.2 ( 23.8)	17.8
非 製 造 業	17.4	18.8	11.7	15.7	16.5 ( 24.8)	17.9 ( 23.6)	16.1



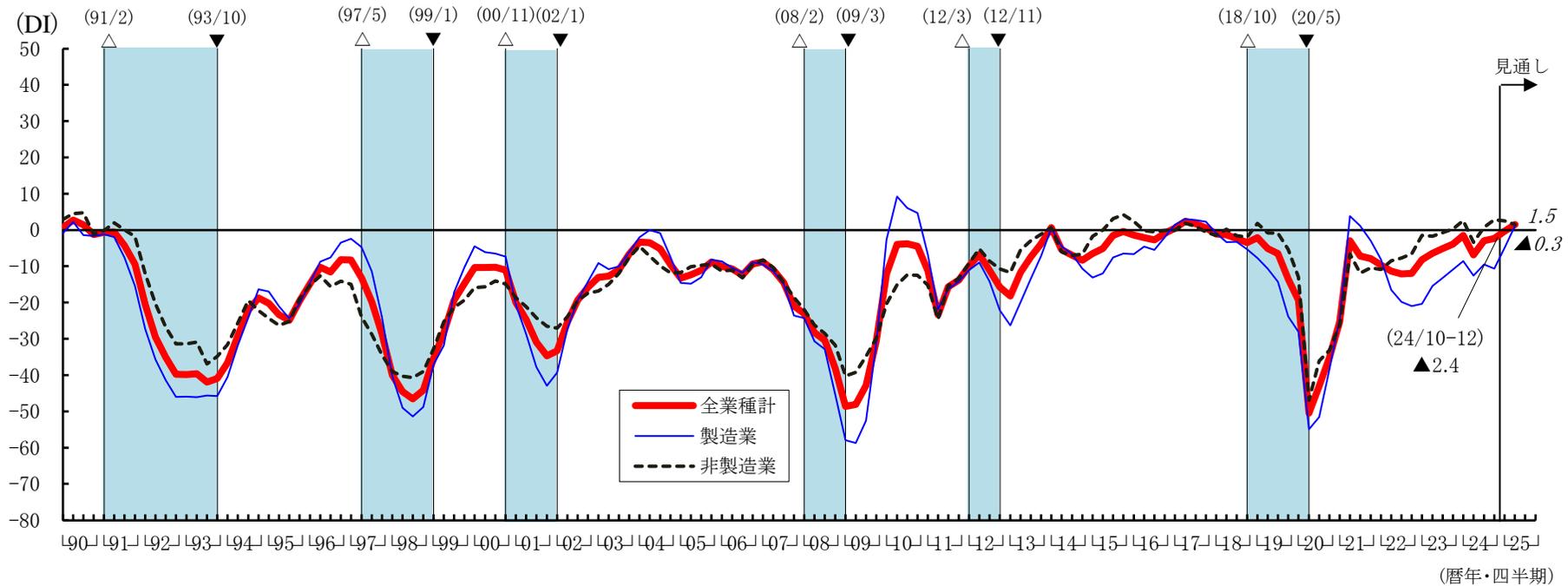
- (注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。  
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

### 3 利益

- 今期の純益率DIは、前期からマイナス幅が0.6ポイント縮小し、▲2.4となった。
- 来期は▲0.3とマイナス幅が縮小し、来々期は1.5となる見通しである。

図－5 純益率DIの推移（季節調整値）

	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6	2024/7-9	2024/10-12 (前回見通し)	2025/1-3 (前回見通し)	2025/4-6
純益率DI (季節調整値)	▲ 3.9	▲ 1.5	▲ 6.9	▲ 3.0	▲ 2.4 ( 2.0)	▲ 0.3 ( 4.1)	1.5
製 造 業	▲ 10.9	▲ 8.6	▲ 12.6	▲ 9.5	▲ 10.6 (▲ 5.1)	▲ 5.0 ( 1.6)	1.2
非 製 造 業	0.3	2.6	▲ 3.4	0.7	2.8 ( 6.0)	2.5 ( 5.5)	1.5



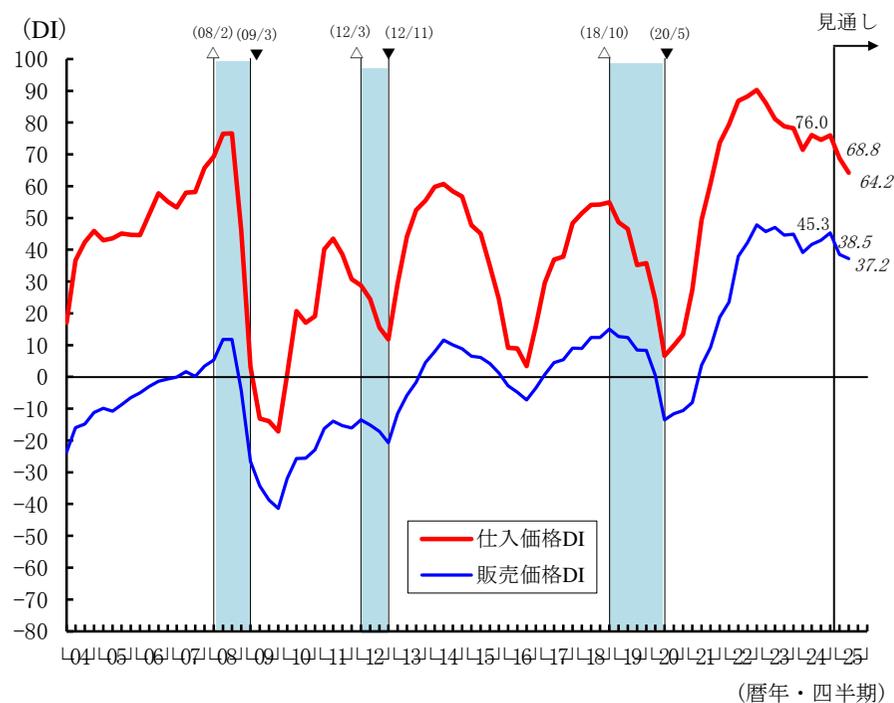
- (注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

## 4 価格、金融関連

- 今期の販売価格DIは、前期から2.3ポイント上昇し、45.3となった。仕入価格DIは前期から1.4ポイント上昇し、76.0となった。来期の販売価格DI、仕入価格DIは、ともに低下する見通しである。
- 今期の資金繰りDIは、前期から1.4ポイント低下し、1.4となった。長期借入難易DIと短期借入難易DIは、ともに前期から上昇した。

図－6 価格関連DIの推移（原数値）

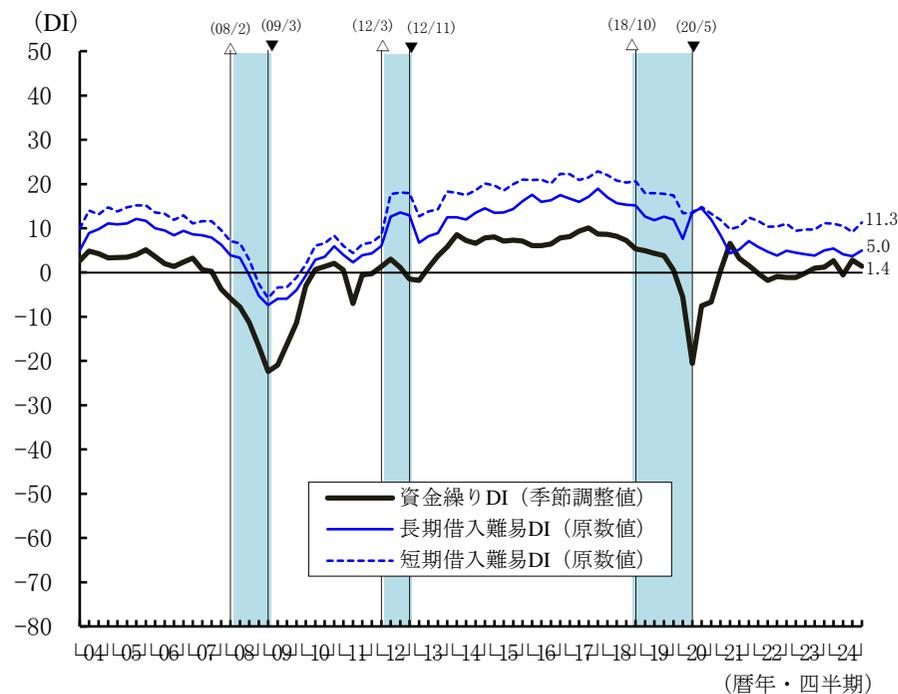
	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6	2024/7-9	2024/10-12	2025/1-3	2025/4-6
販売価格DI	44.9	39.1	41.7	43.0	45.3	38.5	37.2
仕入価格DI	78.2	71.4	76.1	74.6	76.0	68.8	64.2



- (注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（原数値）。  
2 図中の数字は今期実績および見通し（斜体）の値を示す。

図－7 金融関連DIの推移

	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6	2024/7-9	2024/10-12
資金繰りDI（季節調整値）	1.2	2.7	▲ 0.6	2.8	1.4
長期借入難易DI（原数値）	5.0	5.4	4.1	3.7	5.0
短期借入難易DI（原数値）	11.2	11.0	10.5	9.1	11.3



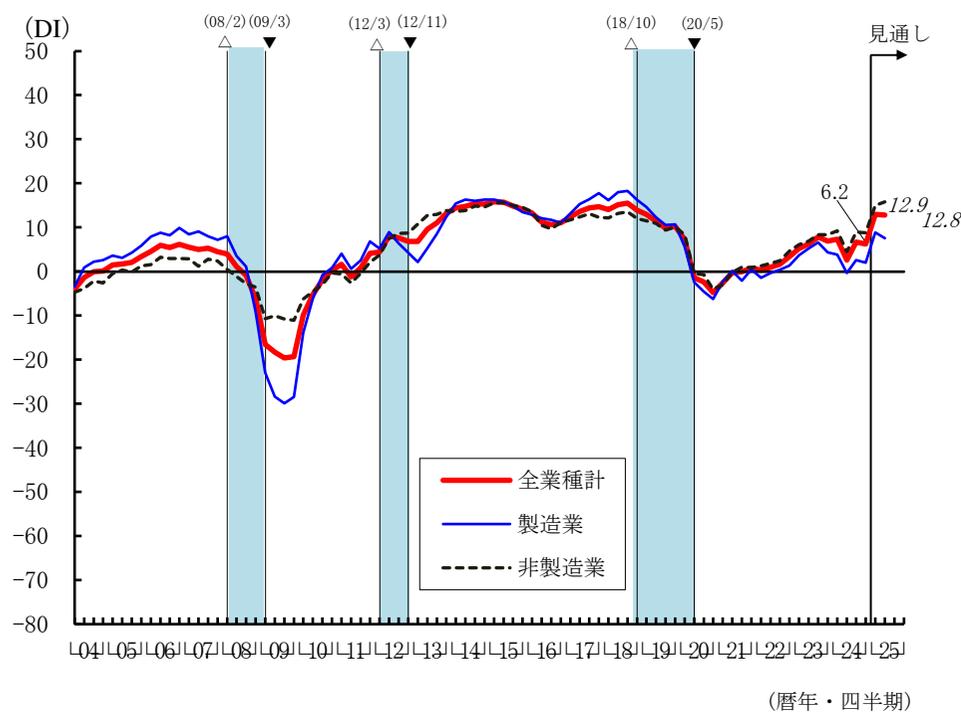
- (注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合（季節調整値）。  
2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合－「困難」企業割合（原数値）。  
3 図中の数字は今期の実績値を示す。

## 5 雇用、設備

- 今期の従業員DIは、前期から0.5ポイント低下し、6.2となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、前期から0.6ポイント低下し、37.3%となった。

図－8 従業員DIの推移（季節調整値）

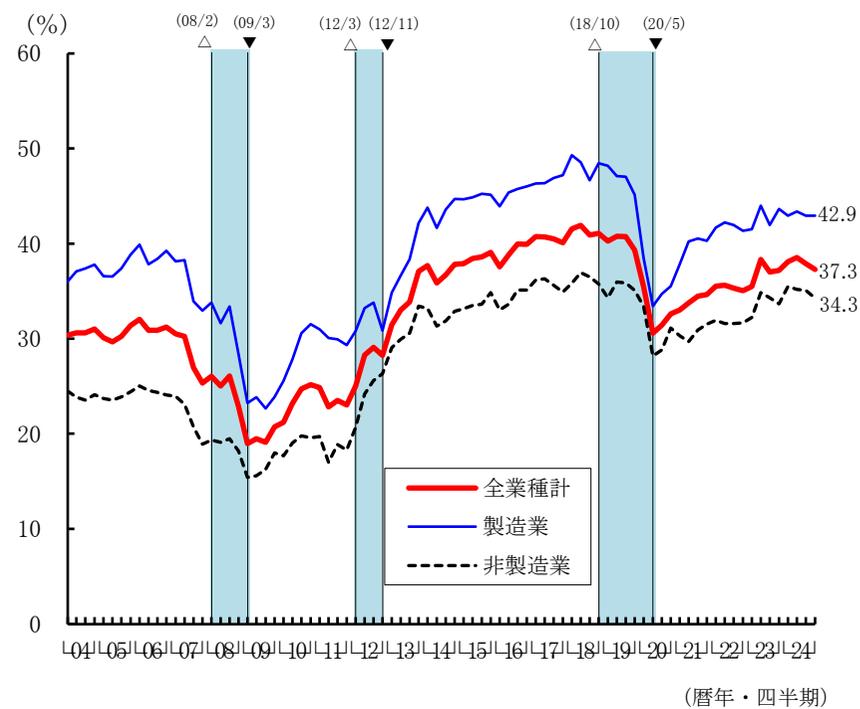
	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6	2024/7-9	2024/10-12 (前四見直し)	2025/1-3 (前四見直し)	2025/4-6
全業種計	6.9	7.3	2.6	6.7	6.2 ( 14.6)	12.9 ( 15.7)	12.8
製造業	4.3	3.8	▲0.3	2.5	2.0 ( 12.8)	8.9 ( 13.5)	7.5
非製造業	8.3	9.3	4.5	8.9	8.8 ( 15.9)	15.0 ( 16.9)	15.8



(注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。  
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

図－9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6	2024/7-9	2024/10-12
全業種計	37.2	38.1	38.5	37.9	37.3
製造業	43.7	42.9	43.4	42.9	42.9
非製造業	33.7	35.5	35.2	35.1	34.3



(注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

## 6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「売上・受注の停滞、減少」が28.0%と最も多く、次いで、「求人難」(26.5%)、「原材料高」(18.4%)となっている。
- 前回調査と比べると、「求人難」は1.1ポイント上昇した。「人件費や支払利息等の増加」は0.5ポイント上昇した。

図-10 経営上の問題点の推移

